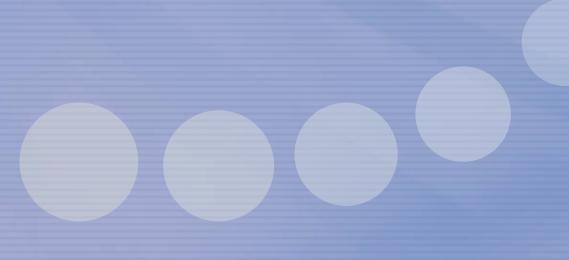
1...

「ロボット産業活性化事業」の概要



ロボット産業活性化事業概要

ロボットは、産業分野に限らず生活の質の向上や安全・安心な社会の実現など、日常生活を含むさまざまな場面での活用が期待されています。中小企業が、既存のロボット技術や研究成果・技術シーズを活用することにより、これらの新たなロボット分野へ参入する可能性があります。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、単なるロボット技術開発にとどまらず、必要とされるサービス分野において、商品となるロボットを創り「実用化」、それらのロボットを活かした新しいサービスの提供「事業化」を目指す中小企業を支援するため、「ロボット産業活性化事業」を実施してきました。

支援メニュー

本事業では、5つの支援メニューで中小企業のロボット産業への参入を支援しました。

①技術開発

【基盤技術開発】中小企業が一から開発することなく使える技術を都産技研の研究員が開発しました。 【共同研究開発】ロボットの実用化を目指した共同研究開発を促進しました。

②事業化支援

ロボットの事業化を目指す全国の中小企業が集結し、ロボットエンジニアやユーザー企業などとの交流を図りました。

③試作•評価支援

ロボットの試作開発に必要な設備や、日常の生活を模擬した環境を整備し、ロボットの動作確認を実施しました。

4安全認証技術支援

人と共存する環境で、ロボットが安全に機能するかどうかを確認するための試験を行いました。

⑤ロボット産業人材育成

ロボット活用への意識の醸成、システムインテグレーターやエンジニア育成のための講演会を開催しました。

SCHEDULE 事業スケジュール

事業実施主体: 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 事業期間: 平成27年度から平成31年度

平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
東京ロボット産業支援プラザの運営					
1 技術開発					
サービスの影	計				
ロボットシステムの開発 ・T型ロボットベースの開発 ・知能化技術導入・開発 ・安全認証技術の確立				ロボット	
ㅁォ	、 ボットの実用化を目指	した共同研究開発の何	足進		ビのス社
2 事業化支援					一 口会 ボ実
	ロボットの事業化を	·目指す全国の中小企	! 業を集結、オープンイ	ノベーション促進	ッ装 トに
ロボットユーザーの発掘や国内外の展示会などの機会を活用し、中小企業の市場開拓を支援					
					芸り
3 試作・評価支	援		 		装取
機器整備		試作支援・	・ 実証実験支援の実施 ・		社会実装支援事業
4 安全認証技術	5 士 f空		i 		事み
4 女主認証权制	又饭				業
機器整備	労・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
5 ロボット産業	人材育成				
ロボット活用への	: 意欲醸成、システムイ	ンテグレーターやエン	! ンジニア養成のための	講習 会開催	
-3.21.Min 4021				HT 14 24 1/13 [EE	

サービスロボットの共創

都産技研では、中小企業がロボットを事業化するための支援メニューとして、公募型共同研究開発事業、サービスロボット Sler人材育成事業を実施しました。

これらの事業は、都産技研が技術シーズや評価設備、研究資金を企業に提供しながら共同研究を進めることで、 開発したロボットの製品化・事業化へのスピードを加速することを目的としたものです。

☆公募型共同研究開発事業

案内支援、産業支援、点検支援、介護支援の4分野を対象として、支援分野に合致したビジネス提案を募集し、事業化の実現可能性の高い提案について、都産技研も参画し事業化に向けた共同研究開発を実施しました。新たなサービス/ビジネスを創出することにより、中小企業のロボット産業への参入実現を目指しています。

☆サービスロボットSIer人材育成事業

中小企業の保有する技術力やビジネスプランを含んだロボット(ロボットシステム)の活用方法に関する企画提案(ビジネスモデル提案)を募り、事業化の実現性の高い提案について、都産技研と企業が共同研究を実施しました。サービスロボット Sler の育成を図り、ロボット(ロボットシステム)を使ったサービス/ビジネスを早期に実現することを目指しています。

研究テーマの分野

案内支援

以下の各支援分野に合致したビジネス提案について研究を行い、新たなサービス/ビジネスを創出することにより、中小企業のロボット産業への参入、サービスロボット Sler の育成を進めました。

点検支援

施設や構造物のインフラ点検、施設内監視・

警備・保全、災害対応などの業務支援ロボッ

トおよびシステム

- ●インフラ点検
- 災害対応
- メンテナンス、清掃 など

S. S. S.

産業支援

生産現場の自動化・効率化、倉庫・オフィス・店舗・農場・作業場などで人を支援するロボットおよびシステム

- ●組み立て、加工作業支援
- 農林水産業支援
- 搬送ロボット、ピッキングロボット、 パーソナルモビリティなど

共通

各種施設での受付、案内、手荷物の運搬な

どを支援するロボットおよびシステム

●受付、案内・案内スタップの支援

● 多言語コミュニケーション● 手荷物の運搬 など

ロボット開発の基盤となる共通分野を 対象とした技術・ロボット・システム

● T 型ロボットベースの高機能化

介護支援

介護作業の軽減、人の状態検知、コミュニケーション など介護の質の向上、効率化など介護業務を支援する ロボットおよびシステム

- 被介護者の移乗、移動支援
- 健康状態などの見守り
- 介護用移動ロボット
- コミュニケーション支援 など



サービスロボットSler人材育成

中小企業の保有する技術力やビジネスプランを 含んだロボット(ロボットシステム)の活用方法に 関する企画提案(ビジネスモデル提案)を具現化 したシステム開発など

□ボットを利用した業務支援システム (教育、物流、農業など)